

長泉町わくわく塾・伊豆八十八霊場巡礼報告書

報告者 後藤隆徳

年月日 2012年12月13日(木・晴) = 26名

回数 2011年=19回、2012年=8回

巡礼寺 ●八十三番札所 東福寺(とうふくじ) 0558—52~3513

\* 本尊・阿弥陀如来 \* 山号 照嶺山 \* 臨済宗(帰一寺・末寺) \* 草創・1233(天福元年)

\* 仁科の浜近くに創建された、衰退、再興を繰り返し、途中に真言宗から臨済宗に改宗  
1486(文明十八年)現在地に再興し現在に至る。

\* 本堂天井画の五百羅漢は何度見ても素晴らしいです。

ご本尊真言 おん あみりた ていせい から うん

●八十四番札所 法眼寺(ほうげんじ) 0558 52 0847

\* 本尊・正観世音菩薩 \* 山号 正島山 \* 臨済宗(帰一寺・末寺) \* 草創・1444(嘉吉四年)

\* 僧・幽岩が創建した、その他は一切不明。

ご本尊真言 おん ありりきゃ そわか

距離 2Km+2Km+7.5Km+黄金崎トンネル出口1.5Km=約13Km

タイム 下土狩6:30-土肥-慈眼寺発8:30-東福寺9:05~9:15-法眼寺9:40~  
10:00-松崎港漁協一堂ヶ島-大聖寺前-黄金崎トンネル12:05-終了12:20-  
宇久須クリスタル・ビュー・ホテル12:30~16:30(忘年会)

経費 クリスタル・ビュー・ホテル=料理2100-+入浴・休憩500-

引用文 「伊豆霊場振興会」HPから引用しました。

12月巡礼。天気は良かった。慈眼寺に寄ってから東福寺に向かう。慈眼寺は無住職寺。ご朱印は次の東福寺で貰う。



慈眼寺



Y君

2年前、東福寺に向かう途中、偶然この上の集落・祢宜畑(ねぎのはた)に住む後輩のY君に会った。私と同じ沼津のK電機に勤務していたが、長男ゆえ故郷に帰り、地元の企業に勤めていた。

今は定年になり、近くの建設会社でアルバイト生活のようだ。相変わらず元気そうでなによりだった。八十三番・東福寺に到着。入り口には立派な梵鐘を兼ねた山門がある。境内には弘法大師の大きな像が立っている。本堂には伊豆八十八の寺には珍しくグッズ販売場がある。

天井を上げば色鮮やかな、五百羅漢がコテ絵で描かれている。ただ、年代は古いものではない。本堂入口には五百羅漢見学は有料300円とあるが、巡礼者は不要。仁科出身の方が東京で事業を興して成功したので、後年、その息子さんが五百羅漢をお寺に寄進して両親の供養をしたということです。一人一人の羅漢の表情がとても豊かなので、見飽きません。



東福寺



五百羅漢



お母さん

では、五百羅漢とは・・・？

信仰の対象である500人の羅漢（阿羅漢（あらかん）。インドの仏典に、仏に常時付き従った弟子の数として、あるいは仏滅直後の経典編纂（へんさん）の参加者の数として、しばしば「五百」の数字があげられているこれに基づき、中国や日本で、500人の羅漢に対する信仰が生じ、五百羅漢像が彫られそれを安置する五百羅漢寺が建てられるようになった。

中国では「乾明院（けんみょういん）五百羅漢名号碑」に500人の羅漢の名が列記されたこともあるが、歴史的事実を表したものではない。

日本で五百羅漢の像で有名な寺院に、大分県中津（なかつ）市耶馬溪（やばけい）の羅漢寺、埼玉県川越（かわごえ）市の喜多院（きたいん）、東京都目黒の羅漢寺などがある。京都市の大徳寺や東福寺などには五百羅漢の画幅がある。

yahoo 百科事典より

2年前ここを訪れた時、ちょっと遅くなりお母さんに小言を言われたが、今回はそんなことはなかった。それを話したら、「そう」と笑っていた。でも、ちょっと五月蠅そうな方。

ここから旧道を辿り八十四番・法眼寺に向かう。旧道沿いには、無人の野菜・タマゴ販売店があり、ブラブラ冷やかして行く。また、菜の花が咲き、とても年末とは思えない。仁科に着き漁港に近い法眼寺着。



法眼寺



観音像

ここは山影の寺で冬はちょっと寒い感じがする。境内には大きく立派な大理石の観音像が建っている。この観音像は・・・

仁科・法眼寺の大理石観音像は、「あけぼの観音像」と呼ばれています。

いわれは、仁科に関係していた方で、「あけぼの物産」で成功した台湾人が、第二の故郷のこの寺に寄進しました。

作者は長泉在住の彫刻家・堤 直美氏の父の堤 達夫氏。ただ、堤氏は彫刻家でないので実際の刻みは、台湾の林 ソー恵氏を仁科に呼んで、製作されました。(ソーは、漢字不明)

観音像は二体作られ、一体は鎌倉・建長寺に置かれています。

なお、堤 直美氏も数々の仏像作っています。下記HPで検索出来ます。近くでは沼津・光長寺本堂脇また西の坊で見ることが出来ます。余談ですが、西の坊は後藤の菩提寺です。

堤直美彫刻美術館 <http://www7a.biglobe.ne.jp/~naomi/>

お勤めを済ませ仁科漁港直売店に寄る。皆でワイワイガヤガヤ。買い物は楽しいです。ここを辞し港の中まで来ると、今度は「サンマ」沢山網に干してあった。近くの方に聞いたら「売ってあげる」だった。この方はこの工場の専務。大きいのは一匹100円、小さいのは50円だがオマケがある。これまた皆でワイワイガヤガヤ購入。私も大を四匹購入した。翌日、さっそく頂いたが、まあまあ美味しかった。

ここから堂ヶ島を通過しグングン歩いたら、何と次寺の85番・大聖寺前に着いてしまった。ただ、時間が半端だったので、パスし更に歩き、黄金崎トンネル出口で終了した。忘年会は沢山の料理と一年を振り返り大いに賑やかでした。



サンマ干し



正月用  
塩(潮)カツオ



2012年・大忘年会



84番札所・法眼寺